

科目名	日本史A	単位数	2単位	学科・学年	全学科1年生の選択者																																							
使用教科書	高等学校 日本史A (第一学習社)	副教材等																																										
学習目標	<p>○ みなさんは、本校で1年次に「地理A」か「日本史A」(選択)、2年次で「世界史A」を学びます。そして3年次には、総仕上げとして「現代社会」を学習します。</p> <p>○ 「日本史A」では、我が国の近現代の歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連付けて学ぶことによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養いましょう。</p>																																											
学習評価	<p>○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまり(定期考査ごとを学習のひとまとまり)ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。</p> <table border="1" data-bbox="322 719 1385 1104"> <tr> <td>①関心・意欲・態度</td> <td>授業に積極的に取り組み、発表などが積極的にできるかどうかをみます。</td> </tr> <tr> <td>②思考・判断 (数学的な見方や考え方)</td> <td>見方や考え方を身に付け、社会を論理的・合理的にとらえるとともに、自分自身の問題として考えることができるかどうかをみます。</td> </tr> <tr> <td>③技能・表現 (表現・処理)</td> <td>資料や数値をもとに、その分析を行うとともに、そこから導きだされる結論に対して自分自身の意見を述べるができるかどうかをみます。</td> </tr> <tr> <td>④知識・理解</td> <td>社会科学的なものの見方・考え方、また、その基礎となる知識についてみます。</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="322 1104 1385 1361"> <tr> <td rowspan="5">  </td> <td>評価方法\観点</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習状況観察</td> <td>◎</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>学習態度や状況を観察します</td> </tr> <tr> <td>課題提出</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>必要に応じて準備します</td> </tr> <tr> <td>ノート提出</td> <td>◎</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>学期に1回提出</td> </tr> <tr> <td>ペーパーテスト</td> <td>—</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>小テスト・定期テスト</td> </tr> </table> <p>※表中の◎は観点の中でより重視するところです。</p> <p>○ 学習の過程で自己評価を実施します。自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。</p> <p>*チェック項目の例…授業に対する理解、授業態度、提出物の提出期限厳守。</p>					①関心・意欲・態度	授業に積極的に取り組み、発表などが積極的にできるかどうかをみます。	②思考・判断 (数学的な見方や考え方)	見方や考え方を身に付け、社会を論理的・合理的にとらえるとともに、自分自身の問題として考えることができるかどうかをみます。	③技能・表現 (表現・処理)	資料や数値をもとに、その分析を行うとともに、そこから導きだされる結論に対して自分自身の意見を述べるができるかどうかをみます。	④知識・理解	社会科学的なものの見方・考え方、また、その基礎となる知識についてみます。		評価方法\観点	①	②	③	④		学習状況観察	◎	—	—	—	学習態度や状況を観察します	課題提出	○	◎	◎	○	必要に応じて準備します	ノート提出	◎	—	—	○	学期に1回提出	ペーパーテスト	—	◎	◎	◎	小テスト・定期テスト
①関心・意欲・態度	授業に積極的に取り組み、発表などが積極的にできるかどうかをみます。																																											
②思考・判断 (数学的な見方や考え方)	見方や考え方を身に付け、社会を論理的・合理的にとらえるとともに、自分自身の問題として考えることができるかどうかをみます。																																											
③技能・表現 (表現・処理)	資料や数値をもとに、その分析を行うとともに、そこから導きだされる結論に対して自分自身の意見を述べるができるかどうかをみます。																																											
④知識・理解	社会科学的なものの見方・考え方、また、その基礎となる知識についてみます。																																											
	評価方法\観点	①	②	③	④																																							
	学習状況観察	◎	—	—	—	学習態度や状況を観察します																																						
	課題提出	○	◎	◎	○	必要に応じて準備します																																						
	ノート提出	◎	—	—	○	学期に1回提出																																						
	ペーパーテスト	—	◎	◎	◎	小テスト・定期テスト																																						
履修上の注意	<p>(1)日本史は、歴史的連続性と世界の歴史の中で、互いに関連を持ちながら同時に影響しあっていることに、十分留意して学習を進める。また、確認プリントなどを十分に活用し、自ら学習することができる力をつけましょう。</p> <p>(2)日ごろから、新聞、雑誌、インターネットなどを通して、現在の様々な情報や資料に対してアンテナを張り巡らし、社会情勢にも関心を持ちましょう。</p>																																											

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 ( 評 価 方 法 )
1 学 期	4	<b>第1部 私たちの時代と歴史</b>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○江戸時代の日本の対外関係について理解する。</li> <li>○近世後半の産業・教育や思想などについて理解する。</li> <li>○幕藩体制の動揺と諸藩の改革について理解する。</li> <li>○明治政府の諸政策によって近代日本の基礎が形成されたことを理解する。</li> <li>○自由民権運動の中で憲法制定・国会開設に至った経過を理解する。</li> <li>○不平等条約の改正問題について理解する。</li> <li>○日清・日露戦争の経緯と結果、日本の勢力拡張について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【学習状況観察】</li> <li>【プリント教材】</li> <li>【中間テスト】</li> </ul>
		コラム 近現代学習のはじめに	2		
		<b>第2部 第1章 近代国家の形成と国際関係の推移</b>	22		
		第1節 近代への胎動	4		
	5	第2節 開国と幕末の動乱	4		
	6	第3節 近代国家の形成	8		
	7	第4節 国際関係の推移と近代産業の発展	6		
2 学 期	9・10	<b>第2章 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢</b>	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資本主義の確立と社会問題の発生、社会運動と女性解放運動について理解する。</li> <li>○国家主義思想や大正デモクラシーについて理解する。</li> <li>○第一次大戦を通しての日本の外交方針について理解する。</li> <li>○世界恐慌と軍部の台頭、太平洋戦争に至る経過について理解する。</li> <li>○第二次世界大戦で日本がアジア諸国に与えた影響について理解する。</li> <li>○第二次世界大戦後の占領と日本国憲法の制定、経済復興、冷戦の始まりについて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【学習状況観察】</li> <li>【プリント教材】</li> <li>【中間テスト】</li> </ul>
	11	第1節 第一次大戦と日本	14		
		第2節 第二次世界大戦と日本	8		
	12	<b>第3章 現代の日本と世界</b>	14		
		第1節 日本の再出発	2		
3 学 期	1	第2節 独立後の政治と経済の発展	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主権回復後の日本の政治と高度経済成長、石油危機と冷戦終結後の世界情勢、55年体制の崩壊について理解する。</li> <li>○都市化や過疎化、公害など、さまざまな社会問題の発生について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【学習状況観察】</li> <li>【プリント教材】</li> <li>【自己評価】</li> <li>【ノート提出】</li> <li>【学年末テスト】</li> </ul>
	2	第3節 現代の日本と世界	4		